

一般社団法人日本経済団体連合会 代表者殿

文部科学省初等中等教育局児童生徒課

現下の状況を踏まえた職場体験活動・就業体験活動の受入れについて

平素より、中学校における職場体験活動及び高等学校における就業体験活動の受入れについて、多くの企業・関係者の皆様に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センターによる令和3年度職場体験・インターンシップ実施状況等調査の結果が公表され、令和3年度においては、実施する学校の割合が令和元年度（前回調査時）から大きく低下する結果となりました。

中学校における職場体験活動と高等学校における就業体験活動は、生徒が勤労の尊さや創造することの喜びを体得し、勤労観・職業観の形成や進路選択決定などに資する重要な教育活動です。

そのため、文部科学省としましては、各都道府県・政令指定都市教育委員会等を通じ、各学校に対し、域内の感染状況等を踏まえた感染症対策を講じた上で、各地域における受入先の事業所等とも連携を図り、実施に向けて特段の配慮をいただくようお願いしているところです。

貴団体におかれましては、各地域において、学校等より、中学校における職場体験活動及び高等学校における就業体験活動の受入れについて要請があった場合には、上記の趣旨を踏まえ、可能な限り受入れに御協力いただきますよう、関係者の皆様に周知をお願いします。

○令和3年度職場体験・インターンシップ実施状況等調査結果（国立教育政策研究所 生徒指導・進路指導研究センター）

<https://www.nier.go.jp>

<職場体験活動・就業体験活動を実施している学校の割合の推移> (%)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
公立中学校	98.1	98.6	97.7	97.9		28.5
公立高等学校	83.7	84.8	87.6	85.0		52.9

(注) 令和3年度の調査においては、新型コロナウイルス感染症による影響及び回答者への負担軽減等の観点から、調査の大幅な見直しを行った。

- ① 令和元年度まで実施していた「中学校職場体験」に係る調査については、「令和4年度全国学力・学習状況調査結果資料」（文部科学省・国立教育政策研究所）を活用。
- ② 「高等学校インターンシップ」については、調査項目を精選するとともに、調査に当たっては、必ずしも高等学校に照会する必要はなく、各所管課等において把握している範囲で回答をするよう依頼。

○職場体験活動・就業体験活動の実施に向けた工夫の例

- ・一斉ではなく、グループに分かれて時期や場所をずらして実施する。
- ・感染状況により対面での実施が困難な場合は、オンラインを活用し実施する。
- ・感染拡大予防に関して、生徒の動線、事業所内の各施設の使用人数への配慮等について、受入先と十分に協議を行った上で実施する。

など

【参考】

○「新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた職業に関する教科の実習等に関するQ&Aについて（一部更新）」（令和3年9月7日付け事務連絡）

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00039.html

○新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について
教育活動の実施等に関するQ&A

④学習指導等に関すること

2.感染症対策を講じた上での学習活動の留意点等に関すること

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00039.html

3.学校行事に関すること

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00040.html

※ 今後、これらのQ&Aや新型コロナウイルス感染症に関する対応方針等に変更があった場合、各学校等は、最新のQ&Aや対応方針等に沿って対応することになります。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局児童生徒課

キャリア教育推進係

電話 03-5253-4111（内線 4728）